

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| 事故等番号       | 2011広第219号   |   |
| 事故等種類       | 座洲   |   |
| 発生日時        | 平成23年9月27日 06時10分ごろ  |   |
| 発生場所        | 愛媛県宇和島市宇和島港<br>宇和島港榑崎防波堤灯台から真方位150° 680m付近<br>(概位 北緯33° 13.2′ 東経132° 33.2′)  |   |
| 事故等調査の経過    | 平成23年12月27日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。  |   |
| 事実情報        |  |   |
| 船種船名、総トン数   | 貨物船 泉翔丸、497トン  |   |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 136550、井村汽船株式会社  |   |
| 乗組員等に関する情報  | 船長、五級海技士（航海）   |   |
| 死傷者等        | なし   |   |
| 損傷          | なし   |   |
| 事故等の経過      | <p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、鉄鋼スラグ約1,550tを積載し、船首約3.56m、船尾約5.10mの喫水で宇和島港坂下津岸壁に着岸するため、同岸壁の東方沖において右回頭中、平成23年9月27日06時10分ごろ同岸壁の沖70m付近に座洲した。</p> <p>本船は、積荷を前後に移動し、甲板上に設置されたクレーンで船体を左右に振るとともに、主機を前後進に使用して離礁したのち、潜水士による船底調査が行われた。</p>                          |   |
| 気象・海象       | <p>気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期、潮高 約237cm</p>   |   |
| その他の事項      | <p>本船は、通常の積載量が1,200～1,300tであり、これまでも宇和島港坂下津岸壁に着岸のために前進しながら右回頭する際、同岸壁の東方沖に拡張する浅水域で船底を擦ることがあったが、そのまま前進を続けても行きあしが止まることなく、無事に同浅水域を通過して着岸することができた。</p> <p>本船は、積載量が1,200tの際、喫水が船首約3.00m、中央約3.80m、船尾約4.60mであった。</p> <p>船長は、本船が座洲するまで危険を感じていなかった。</p> |   |
| 分析          | 乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>気象・海象の関与<br>判明した事項の解析  | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、宇和島港坂下津岸壁に着岸作業中、通常より積載量が多い状態であったが、喫水と水深の関係を考慮しなかったことから、浅水域に接近して座洲したものと考えられる。</p> |
| 原因          | 本インシデントは、本船が、宇和島港坂下津岸壁に着岸作業中、通常より積載量が多い状態であったが、喫水と水深の関係を考慮しなかったため、浅水域に接近して座洲したことにより発生したものと考えられる。   |   |

|    |   |
|----|---|
| 参考 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 入港着岸の際は、海図及び潮汐表等で水深を確認し、喫水及び水深を考慮した操船を行うこと。</li></ul> |
|----|---|